

第 2750 地区多摩中グループ

東京小金井さくらロータリークラブ

Week Report

2015～2016 年度 クラブのテーマ

“ 人生意気に感ず ”

会 長 藤原 康弘



国際ロータリー会長

ジョン・ジャーム

2017/ 2 /22 発行

第 1123 回 例会報告 平成 29 年 2 月 15 日〔水〕 12:30～13:30

本日のプログラム

- ◆ 点鐘開会 藤原康弘会長
- ◆ ロータリーソング 『友は我が影』
- ◆ お客様の紹介 藤原康弘会長

ビジター:秋葉欽司様
【東京小金井 RC】



◆ 会長の時間

藤原康弘会長



本日はこの場にて、武蔵小金井北口のさくらの植樹に伴う、北口駅コンコースの出たところに銘板を設置する運びになり、そのデザインを皆様にご意見を頂きたいと思っています。いいアイディアありましたら、お知らせ頂けると助かります。また、来週は地区大会となっていますので、多くの皆様の出席を宜しくお願いします。そして友愛の広場に小金井さくらRCのブースの申込みをしました。担当は福平会員にお願いしましたが、会場に於きましたは皆様で盛り上げていただきたいと思います。

◆ 会務報告 小野寺孝成幹事

*多摩中グループ、IMにつきましては先日もパンフレット等を配布済のため、ご存じと思います。今月末には参加者の報告をしますので、各自お返事をお願いします
4/12 15:00～ 立川パレスホテルです。
会員の 60%の出席目標となっていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

卓話講師 地区・米山選考委員長 佐藤 剛 様

*東小金井北口駅前広場完成に伴い、朝日新聞の広告掲載のお願いが届いています。希望者は申込みをしていただきたいと思います。

◆ 出席委員会

会員24名・欠席8名・
事前メーク1名免除者1名
本日の出席率 66, 67%
前回・前々回は訂正ありません



出席率アップのため、欠席の際には前後2週間の内に、メーキャップをお願いいたします

◆ ニコニコボックス 後藤委員長

清水陽子会員:先週ファミリーマート・東小金井店がオープン致しました。クラブより素敵なお花を頂戴し、心より御礼申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。【ニコニコ】

◆ 本日の卓話

卓話講師:佐藤 剛様

地区、米山記念奨学会

米山選考委員長



テーマ: 米山奨学事業について

米山奨学事業とは日本のローターの創始者、故米山梅吉翁の偉業を記念し、後生に残るような有益な事業を立ち上げたい。という思いから、東京 RC が発表したのが、海外から

優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業「米山基金」の構想でした。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという強い願いがありました。

米山記念奨学事業のあゆみ ■1946 年 米山梅吉氏逝去 → ■1949 年 日本のローターが国際ローターへ復帰 → ■1952 年 東京 RC が事業構想「平和日本」を世界へ（日本の友人を増やし、平和を实践する人材を育てる） → ■国際理解と親善への近道として「米山基金」を創設 → ■1957 年 全国組織へ → ■1967 年 財団法人設立

なぜ外国人留学生支援なのか

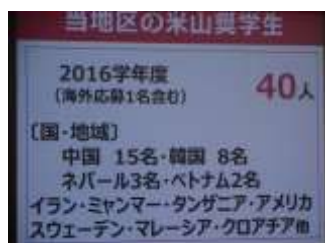
将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のローターに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか。



■2016 学年度 750 人、累計 19,197 人。 ■当地区の2016 学年度(海外応募1 名含む)は、40 名。(中国 15 名、韓国 8 名、ネパール 3 名、ベトナム 2 名、他)

中国・韓国の奨学生が多い理由

■日本に留学している学生の数が他の国に比べ中国・韓国の留学生の数が多い。 ■優秀な学生が多い。 ■大学からの被推薦学生の数が多い。



奨学生を選ぶ基準・選考の目安

(全地区共通の選考基準(+地区裁量)で公平に選考) ■出身国が偏らないよう、多様な国(地域)の出身者を選定する。 ■当地区のクラブへ通える範囲に居住していること。 ■日本語能力があり、コミュニケーション能力に優れていること。 ■ローター活動に関心を持ち、積極的に参加をする意欲のある学生であること。(特に重要視し、本人にも強く確認済) ■受給資格が1年以上で、なるべく最終学年の学生を優先。

寄付金について

(米山奨学事業は寄付金だけで成り立っています。) ■寄付金には「普通寄付金」と「特別寄付金」の2種類があります。 ■「普通寄付金」は、全ローターからの定期寄付。(各クラブで決定した金額×会員数を半期に一度送金) ■「特別寄付金」は、個人・法人・クラブからの任意の寄付金でローター以外からもお受けします。 ※米山奨学事業は寄付金だけで成り立っているため、1967 年財団法人の認可にあたり、安定財源としての普通寄付金により、毎年一定収入の見込みがある事を条件に設立認可を得た経緯があり、2 種類の寄付金制度になっています。 ■当地区の合計寄付額の昨年度実績は、1 億 8342 万円で第 2 位。平均額では、普通寄付金 5,872 円、特別寄付金 18,123 円。

寄付のお願い

■寄付金は、所得税(個人)、法人税(法人)の税制優遇が受けられます。また、相続税も非課税となります。 ※普通寄付金分も申告用領収書を発行出来ます。(クラブ事務局経由で、米山奨学会に申請が必要です) ■2017 年は、財団設立 50 周年です。当地区の目標額(普通+特別)は、20,000 円となっています。寄付が増えれば、より多くの奨学生を採用できます。世界中に学友会も増えています。ご協力をお願い致します。

◆点鐘閉会

藤原康弘会長

事務所：東京都小金井市本町5-11-6 伊藤ビル3F

TEL：042-387-6688 FAX：042-387-8008

例会場：東京小金井市本町2-5-4 多摩信用金庫・小金井支店4F

会長：藤原康弘 幹事：小野寺孝成 会報・プログラム委員長：清水陽子

e-mail：sakura-rc@jcom.home.ne.jp 委員：遠藤・黒田・成澤・松本・守屋



